

## ベトナムの電力事情

### 1. ベトナムの電力事業形態

ベトナムでは 1990 年代から行われてきた国営企業改革の一環として、電力分野においても事業者組織の改編が行われ、2006 年にそれまで発送電事業を直轄事業で行っていたベトナム電力公社(EVN: Electricity of Vietnam)が「EVN: Vietnam Electricity Holding Company」の名称を持つ持株会社となった。

また、傘下の公社についても EVN の子会社としていくつかの民営企業に再編されるとともに、電気事業制度の改革も進められ、2004 年の新電力法施行など、発電部門への民間資本の導入や電力市場への競争原理の導入を進めている。

### 2. 発電設備、電力需要

#### (1) 発電設備内訳

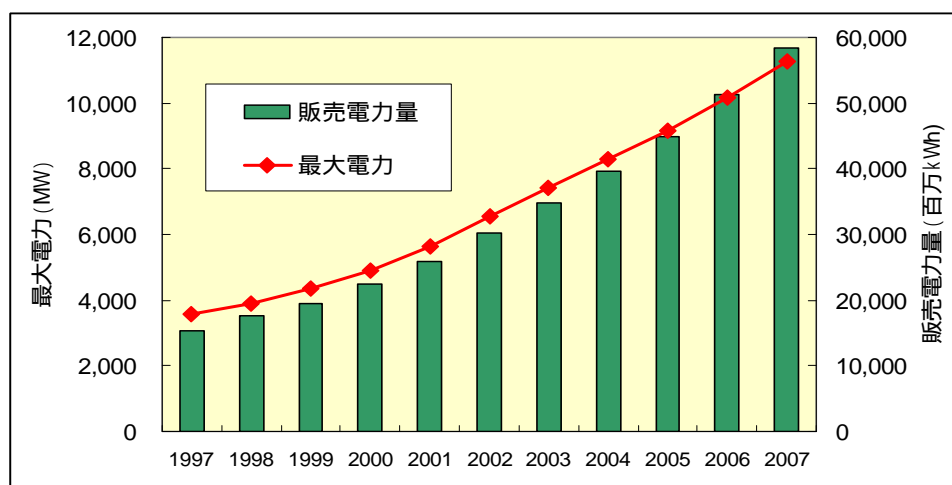
項目	ベトナム	東京電力
発電設備	1,345 万 kW	6,398 万 kW
水力	464.7 万 kW(34.6%)	899 万 kW(14%)
火力	880.3 万 kW(65.4%)	3,769 万 kW(59%)
原子力	-	1,731 万 kW(27%)
その他	-	0.4 万 kW( 0%)

(ベトナム：2007 年、当社：2008 年度末)

出典：海外電力調査会資料

#### (2) ベトナムの電力需要

経済成長、電化率の向上を反映して、最大需要、販売電力量は年々増加している。



出典：EVN アニュアルレポート、海外電力調査会資料

### 3. ベトナムの所在地



以上